



2010年7月29日

各 位

会社名	小野薬品工業株式会社
代表者	代表取締役社長 相良 暁
コード番号	4528
東証・大証	(各第一部)
問い合わせ先	常務取締役広報室長 森本公也
	TEL : 06-6263-5670

### 短時間作用型 $\beta 1$ 受容体遮断剤「注射用オノアクト<sup>®</sup>50」

#### コンピューター断層撮影による冠動脈造影における冠動脈描出能の改善について効能追加申請

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：相良 暁、以下、当社）は、国内において販売中の「注射用オノアクト<sup>®</sup>50、一般名：ランジオロール塩酸塩」について、“コンピューター断層撮影（CT：Computed Tomography、以下、CT）による冠動脈造影における冠動脈描出能の改善”の効能を追加申請しましたのでお知らせします。

近年、狭心症や急性心筋梗塞などの虚血性心疾患における冠動脈の狭窄の程度を診断する方法として、CTによる冠動脈造影が注目されています。CTによる冠動脈造影は、心臓カテーテルによる冠動脈造影とは異なり、動脈の穿刺を必要としない低侵襲の検査であり、また、外来で比較的短時間で終了する簡便な検査です。

しかし、CTによる冠動脈造影検査では、心拍数の高い方で画質の低下を生じることがあり、的確な診断が困難となる場合があります。そこで、心拍数の高い方が当該検査を受ける場合は、事前に心拍数をある程度下げて撮影する必要があります。

注射用オノアクト<sup>®</sup>50は、主に心臓に多く存在する $\beta 1$ 受容体を選択的に遮断し、心拍数を速やかに低下させる薬剤であり、心拍数の高い方でも、当該検査前に本剤を投与することで心拍数を下げ、CTによる冠動脈造影において、より鮮明な画像を得ることが期待できます。

なお、注射用オノアクト<sup>®</sup>50は、当社が創製・開発した短時間作用型 $\beta 1$ 受容体遮断剤で、2002年7月に「手術時の下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置：心房細動、心房粗動、洞性頻脈」の効能・効果で承認され、また、2006年10月には「手術後の循環動態監視下における下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置：心房細動、心房粗動、洞性頻脈」の効能・効果が追加承認され、これまでに多くの患者さんにご使用いただいています。

以上